

授業科目 基礎看護学演習 II

【担当教員名】 川崎 久子、石塚 敏子、高橋 智美、 櫻井 理恵		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【一般目標：GI0】 基礎看護学 II で学習した知識を基盤として、治療過程における基本的な看護技術を演習を通して習得する。					
【行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 無菌操作の基本的な技術を用いて、滅菌物を取り扱う。 2. 目的や創傷部位にあった包帯法を実施する。 3. 無菌操作の原則に則り、導尿を実施する。 4. 苦痛に配慮しつつ、安全に筋肉内注射を実施する。 5. 点滴静脈内注射を実施し、適切な速度で滴下する。 6. 静脈血採血を実施する。 7. 酸素療法を安全に実施する。 8. 気道内吸引を安全に実施する。 					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	無菌操作	1	演習、担当：川崎 久子 他		
2	創傷処置・包帯法	2	演習、担当：川崎 久子 他		
3・4	一時的導尿	3	演習、担当：川崎 久子 他		
5・6	筋肉内注射	4	演習、担当：川崎 久子 他		
7・8	点滴静脈内注射	5	演習、担当：川崎 久子 他		
9	静脈血採血	6	演習、担当：川崎 久子 他		
10・11	酸素療法・気道内吸引	7	演習、担当：川崎 久子 他		
12～15	事例展開	1～7	グループワーク、担当：川崎 久子 他		
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他> 教科書 (必ず購入する書籍) 系統看護学講座 専門 I 基礎看護技術 II 基礎看護 任和子 代表 医学書院 2013・2,900 円＋税 学 3			
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 学科試験 50% 授業に基づく課題レポート 30% 事例に基づく課題レポート 20%		【履修上の留意点】 身体に侵襲性の高い看護技術について学習します。これらの看護技術を安全に提供するためには、基礎看護学 II の授業内容をしっかり理解することが大切です。演習が中心の授業です。演習では、ユニフォームを着用して身だしなみを整えて参加すること。			